

| | | | |
|--------------|--------------------|--------------------|------------------|
| KASAI データバンク | 人口 / 48,405 (-128) | 世帯数 / 16,969 (+13) | |
| | H22.3.31 現在 (前月比) | 男 / 23,580 (-60) | 女 / 24,825 (-68) |
| | 3月の出生数 / 33人 | 死亡数 / 49人 | |



▲塩川会長(右)から最終報告書を受け取る中川市長

地方自治体公民連携研究会から最終報告書提出

加西市における公民連携や行財政改革のあり方について、昨秋より研究を進めてきた地方自治体公民連携研究会(会長/塩川正十郎元財務相)から3月29日、中川市長あて最終報告書が提出されました。

現在の市の負債だけでなく、老朽化した公共施設の更新負担も「隠れた負債」と位置付け、それらをどう解消していくかという観点から、非正規職員等が担っている市役所業務の包括委託や老朽化施設の更新等に民間活力を活用することなどに具体的提案が示されました。

同研究会のご厚意により調査報告は無償で引き受けいただきました。詳しい内容については、市ホームページをご覧ください。

北播磨3市1町消防広域化協議会を設置

北播磨3市1町(西脇、加西、加東、多可町)の消防本部統合に向けた法定協議会が、4月1日発足しました。

消防広域化のための協議会設置は県内でも初めてで、事務所を加東市滝野庁舎内に設置。加西市からも課長補佐級の職員を1人派遣しています。

地域の消防力を増強するため平成24年度中の業務開始を目指し、運営計画の策定や一部事務組合設立に向けた作業が進められます。

消防広域化協議会の開所式。自治体の首長や議長が出席▶



▲左から篠倉菜緒主将と山本理沙副主将。教育長から賞賛金を授与

泉中学校バレエ部に加西市代表賞賛金を授与

兵庫県中学校バレーボール男女大会で準優勝に輝いた加西市立泉中学校女子バレエ部に3月12日、八巻教育長から加西市代表選手賞賛金が授与されました。主将の篠倉菜緒さん(3年)は、「気持ち一つにすることで、良い結果となりました」と大会をふり返りました。また、この県大会準優勝により、3月25・26日に開催された「第42回近畿中学生バレーボール選抜優勝大会」に出場。ベスト8に進出し、試合態度も評価され「さわやかマナー賞」を受賞するなど活躍しました。



古法華自然公園でのハイキング▶

加西ロマンの里ウォーキング

今年で7回目を迎える市体育協会主催の「加西ロマンの里ウォーキング」が3月21日に開催され、市内外から350人が参加しました。

参加者は善防中学校西側にあるぜんぼうグリーンパークから、日本最古の石仏のある古法華自然公園内をゆっくりめぐる初心者向け6kmコースと、同公園から国宝の三重塔がある法華山一乗寺を回る中上級者向け15kmのコースに分かれ、緑あふれる自然と歴史を満喫しながら、ウォーキング仲間との交流を深めました。

伝統と心意気。北条節句祭り

桜の季節の訪れとともに4月3・4日、「北条節句まつり」が北条町北条の住吉神社周辺で開催されました。

「北条節句まつり」は、優美さと勇壮さが織りなす華やかな春の祭りとして有名で、播磨三大まつりの一つに数えられ900年近い歴史と伝統を引き継いでいます。東西の神輿、13台の豪華な屋台が街中での巡行と勇壮な宮入を行い、古式ゆかしい鶏合せ神事や龍王の舞などを奉納。晴天にも恵まれ、祭りは終日大勢の人出でにぎわいました。

最終日の住吉神社への宮入▶



▲ため池百選に選定された長倉池

長倉池が「ため池百選」に選定

玉丘町の長倉池が、農林水産省の「ため池百選」に選定されました。ため池が地域活性化の核として保全・活用されるきっかけになるようにと、農林水産省が全国公募。620ヶ所の応募の中で兵庫県内では6ヶ所の池が選定されました。

長倉池は農業用ため池として大きく貢献、加えてミズトラノオをはじめとした貴重種の宝庫で、生物多様性に大きく関わっているとして評価されました。

異色の民俗学者、赤松啓介氏の「著書・資料展」開催

段下町出身の異色の民俗学者、赤松啓介氏(本名:栗山一夫)の著書・資料展が、市立図書館のオープンミュージアムで3月30日まで開催されました。赤松氏は、独自の「非常民の民俗学」を主張し、近年学会などで再評価が進んでいます。昨年、生誕100年を迎え、今年は没後10年にあたり、加西郷土研究会(藤原昭三会長)が「郷土の異色の学者の功績を地元にもっと知ってもらいたい」と同展を企画。3月13日には記念講演会も開催されました。



▲貴重な直筆原稿や著書



▲走る列車内での川下さんのハーブ演奏

北条鉄道開業25周年「グランド・ハーブ列車」運行

開業25周年を迎えた北条鉄道は4月1日、創立記念日を祝い記念特別列車を2往復運行しました。市内在住のハーブ奏者川下笑里歌さんがグランド・ハーブを演奏し、延べ約140人の乗客がその優しい音色に耳を澄ました。乗客全員には北条鉄道車両を模したチョロQ付きの同日限定の記念乗車証明書が贈られました。

北条鉄道は、昭和60年に国鉄北条線を引き継ぎ加西市などが出資する第三セクター鉄道として営業を開始。この25周年を記念して北条鉄道では様々な行事を企画しており、10月には一大イベントが予定されています。ご期待下さい。

播磨路を走った95年「北条線の歩み」展

大正4年3月3日に北条・粟生間の北条線が開通し、今年で95年を迎えます。これを記念して、北条鉄道ボランティア駅長の上谷昭夫さんの企画で「北条線の歩み」展が4月3日から11日の間、アスティアかさい1階で開催されました。

北条線開通時に住吉神社の屋台19台が繰り出し、北条町駅周辺は大変賑わったことを伝える当時の新聞や、北条線をSLが走る写真などが展示され、来場者は懐かしげに見入っていました。

新聞記事や写真を展示▶

